

# 意見書

友愛会保育園園長

園児名 \_\_\_\_\_

病名「 \_\_\_\_\_ 」

年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

医療機関 \_\_\_\_\_

医師名 \_\_\_\_\_ 印またはサイン \_\_\_\_\_

保育所は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場所です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の提出をお願い致します。感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育所生活が可能となる状態となつてからの登園であるようご配慮下さい。

| 感染症名                        | 感染しやすい期間   | 来園のめやす  |
|-----------------------------|--|---|
| 麻疹(はしか)                     | 発症1日前から発しん出現後の4日後まで  | 解熱後①3日を経過してから   |
| インフルエンザ                     | 症状がある期間(発症前24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い)                                 | 発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(乳幼児にあっては、3日を経過するまで)                        |
| 風しん                         | 発しん出現の前7日から後7日間くらい   | 発しんが消失してから  |
| 水痘(水ぼうそう)                   | 発しん出現1~2日前から痂皮形成まで   | すべての発しんが痂皮化してから   |
| 帯状疱疹                        | 水疱を形成している間   | すべての発しんが痂皮化してから   |
| 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)             | 発症3日前から耳下腺腫脹後4日  | 耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで                           |
| 結核                          |  | 医師により感染の恐れがないと認めるまで   |
| 咽頭結膜熱(プール熱)                 | 発熱、充血等症状が出現した数日間   | 主な症状が消え2日経過してから   |
| 流行性角結膜炎                     | 充血、目やに等症状が出現した数日間  | 感染力が非常に強いので結膜炎の症状が消失してから  |
| 百日咳                         | 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで   | 特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質による治療を終了するまで                                   |
| 腸管出血性大腸菌感染症(0157、026、0111等) |  | 症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの              |
| 急性出血性結膜炎                    | ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数か月排出される                                      | 医師により感染の恐れがないと認めるまで   |
| 髄膜炎菌性髄膜炎                    |  | 医師により感染の恐れがないと認めるまで   |
| 新型コロナウイルス感染症                | 発症前2日間から発症後7~10日間は感染する可能性があると言われるが、特に発症後5日はウイルスの排出量が多く、人に感染させる可能性が高い | 発症した後5日間を経過するまで、かつ症状が軽快してから1日以上経過するまで。無症状の場合、検査で陽性が確認された次の日から5日間経過するまで。 |

補足 ①解熱した次の日を第1日と数える。

②発症とは、発熱の症状が現れたことを指す。発熱した次の日を第1日と数える。  
以上はあくまでもめやすであり、診察した医師の判断が優先される。